

査ヲナレシ結及歩増シノ変更ヲ施行スベシ

第六ニ就テハ元來野蠻特勵ノ主旨ヲ以テ服務規程ヲ成立シタルモノナリ中途此
分スベキニテマサルモ事件解決後各自ニ返還スベシ

第七ニ就テハ最初職工側ノ希望ニ從ヒ會社之支出皆勤壹ノ外遅刻者ヨリ
徴收シタルモノヲ勉勵者ニ分配スベシ由合セテ定メテ實行シテ來リタルモノ一般ニ
希望セサル上ハ之ヲ廢止スルコトニ異議ナシ

第八ニ就テハ充分調査ヲ爲シシル上相當ノ規定ヲ設ケ可シ

第九ニ就テハ今回ノ事件ノ經過並ニ結果ヲ見タル上ニマラサレバ言明シ難シ

愛知時計電機株式會社

(十月九日)

八日爭議本部ニ於テ種々協議ノ結果別記ノ再要求書ヲ作製スルカ交渉委員
眞トシテ小川松次郎外ニ一名ヲ添ゲ再應會社ニ交渉スヘキコトニ決シ各委員
眞九日正午會社ニ出頭、原工務課長ニ會見再要求書ノ説明ヲナシ
之ガ交渉方ヲホメシモ同課長ハ其要求ハ不當ナルヲ理由トシテ之ヲ拒絶シ
タリ、四能業職工幹部ハ今夜再々各支部ヨリ委員一名宛ヲ本部ニ召集シ
善後策ニ就キ激議セシガ甲論乙駁ノ末、硬派ノ勝利ニ歸シ職工各自ヨリ
五十錢宛出金セシメ十日ヨリ行商隊ヲ組織シ持久ノ戰ニ移ルベシ決セリ
然ルニ職工ノ大部分ハ必スシモ強硬ナラス會社ト職工トノ間ニ相當ノ了解ヲ得
セシムルハ之ヲ考慮中ナルヲ以テ所轄署ニ幹部員廿一名ヲ招致懇諭スル所アリ
幹部員補及省セルカ如シ

再 要 求 書

第一條 團體交渉權ノ要求ハ之ヲ撤回シ其改定本トシテ左ノ一項ヲ加フ

17